

Where there's a will, there's a way

～ 意思ある所に道はひらける ～

令和5年度 八日市高等学校
第3学年 学年通信 No.13
(2024. 3. 1)
発行責任者：元持重子

あざやかに、個性あふれる花よ咲け

卒業

君たちのこれからに期待

八日市高等学校での三年間の学びを終え、今日、晴れて卒業式を迎える227名の皆さん、卒業おめでとう。

いよいよ母校に別れを告げ、それぞれ新しい世界に向かって旅立つ時がきました。三年間の様々な思い出が、走馬燈のように頭の中を駆け巡っているのではないのでしょうか。特に今年度は、最高学年として、新しい形の棠風祭を創り上げるなど、素晴らしい活躍をみせてくれました。よく頑張りました。この三年間を頑張り抜いた皆さんは、より強くより大きく成長した、と信じています。

国公立大学を除く多くの大学入試は、いよいよ終盤を迎えます。受験最中の方は、あともう少しです。悔いを残すことのないように、最後まで頑張り抜いてください。すでに受験を終えた人は、本当にお疲れ様でした。各クラスの受験報告には、悲喜こもももで、悔しい思いをしている人もいると思います。しかし、この受験を通して学んだことはたくさんあったはず。「孤独」や「重圧」と闘いながら、挑戦を続けた事実を、むしろ誇りにしてください。いい結果も不本意な結果も、これで「完結」ではありません。皆さんには「続き」があります。人生はこれからが本番です。

次の時代を生き抜く皆さんが、ここ八日市高等学校での三年間で培った力を基に、人生の大きな花を咲かせてくれることを心から願っています。

最後に送る言葉

青年よ強くなれ

牛のごとく、象のごとく、強くなれ

真に強いとは、一道を生きぬくことである

性格の弱さ悲しむなかれ

性格の強さ必ずしも誇るに足らず

「念願は人格を決定す 継続は力なり」

真の強さは正しい念願を貫くにある

怒って腕力をふるうがごときは弱者の至れるものである

悪友の誘惑によって墮落するがごときは弱者の標本である

青年よ強くなれ 大きくなれ

住岡夜晃『賛嘆の詩』

“継続は力なり”、学校でよく使われる言葉かもしれませんが。大正から昭和にかけて活躍した住岡夜晃という宗教家著作「賛嘆の詩」という本の一説に『継続は力なり』という言葉があり、その部分だけが広まったようです。しかしこの言葉には前後があります。直前はこうです。“念願は人格を決定す”そして、“継続は力なり” “その後には、” 真の強さは正しい念願を貫くにある “ と続きます。ただ続けるだけでは結果はでません。そこには“念願”が必要なのです。念願とは、ひたすら望み願うこと。こうなりたい、そのために今、自分はどうすべきか…。念願が正しい方向性を示し、最後には結果を出すだけ

でなく、その人自身をつくってくれる、だからこそ私たちは日々努力を続けるのだと思います。目標を持ってください。夢を持ってください。青年よ強くなれ 大きくなれ です。

保護者の皆様へ

お子様のご卒業、誠にありがとうございます。また、これまでの本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、有り難うございました。八日市高等学校での三年間の高校生活を経て、お子様は心身ともにたくましく、頼もしい大人へと成長されました。そんなお子様達と共に過ごさせていただいたこと、近くで見守らせていただいたことを感謝しています。学年団を代表して、心からお礼を申し上げます。